

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月31日

協議会名: 紀の川市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
和歌山バス那賀株式会社	(粉河那賀路線) 上名手打田コースA 名手駅前～紀の川市役所(経 由:打田駅ほか)の運行	市内高校へMM(時刻表配布 等)実施。H30年度の網形成計 画策定に向け、市独自予算で 調査準備着手(具体的な調査 はH29年度下期に実施)。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置づけられ た目標を達成した。	H29年度下期に実施する調査 結果の分析や、シンポジウム 等開催による地元住民の意識 醸成を図る。
和歌山バス那賀株式会社	(粉河那賀路線) 上名手打田コースB 名手駅前～名手駅前(経由:名 手上ほか)の運行	同上	A 同上	A 同上	同上
和歌山バス那賀株式会社	(粉河那賀路線) 川原竜門コース 紀の川市那賀支所～紀の川市 役所(経由:粉河駅ほか)の運 行	同上	A 同上	A 同上	同上
和歌山バス那賀株式会社	(桃山路線) 細野貴志川コース 紀の川市役所～垣内(経由:貴 志駅ほか)の運行 ※車両減価 償却費等国庫補助金交付路線	同上	A 同上	B 桃山路線では、年間利用者 数目標を14,968人としてい たが、実績は14,220人で あった。	同上
和歌山バス那賀株式会社	(桃山路線) 桃山鞆淵コース 紀の川市役所～下志賀(経由: 和田ほか)の運行 ※車両減価 償却費等国庫補助金交付路線	同上	A 同上	B 同上	同上

【参考資料】「⑤目標・効果達成状況」について

①補助対象事業者等	②事業概要	⑤目標・効果達成状況	目標値		実績値		達成率	
			平成28年度 H27.10 ～H28.9	平成29年度 H28.10 ～H29.9	平成28年度 H27.10 ～H28.9	平成29年度 H28.10 ～H29.9	平成28年度 H27.10 ～H28.9	平成29年度 H28.10 ～H29.9
和歌山バス那賀 株式会社	(粉河那賀路線) 上名手打田コースA 名手駅前～紀の川市役所(経由:打田駅ほか)の運行	A 事業が計画に位置づけられた目標を達成した。	15,100	15,240	16,100	15,284	106.6%	100.3%
	(粉河那賀路線) 上名手打田コースB 名手駅前～名手駅前(経由:名手上ほか)の運行							
	(粉河那賀路線) 川原竜門コース 紀の川市那賀支所～紀の川市役所(経由:粉河駅ほか)の運行							
	(桃山路線) 細野貴志川コース 紀の川市役所～垣内(経由:貴志駅ほか)の運行 ※ 車両減価償却費等国庫補助金交付路線	B 桃山路線では、年間利用者数目標を14,968人としていたが、実績は14,220人であった。	15,009	14,968	13,296	14,220	88.6%	95.0%
(桃山路線) 桃山鞆淵コース 紀の川市役所～下志賀(経由:和田ほか)の運行 ※車両減価償却費等国庫補助金交付路線								

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年1月31日

協議会名:	紀の川市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>平成17年11月7日に旧那賀郡内の5町(打田町、粉河町、那賀町、桃山町、貴志川町)が合併し、紀の川市が誕生しました。この合併により市の面積が228.21 Km²と拡大し、高齢者や障がい者などの交通弱者にとって市域内の移動が困難となったこと、また公共交通事業者の不採算バス路線撤退等による公共交通空白地域の増加等の問題も生じていたことから、「交通弱者の日常的な移動手段の確保」、「公共交通空白地域の解消」を目的とし、地域巡回バスの運行を開始しました。</p> <p>現在では、この地域巡回バス路線の認知度も、高齢者の方々をはじめとして、徐々に浸透してきているところです。また高齢化、人口減少対策として、市全体で定住施策を推進している中で、公共交通の充実も定住条件の一つと考えられます。</p> <p>以上のことから、引き続き、行政・市民・事業者等が協力し一体となって、この地域巡回バスの路線確保、サービス提供の維持を行っていきたいと考えております。</p>